



当院では、血糖コントロール指標の HbA_{1c}の結果が受診時にわかります

HbA_{1c}は過去1～2カ月の平均的な血糖値の指標です。

この検査をすると、血糖コントロールの状態を、長期的に、よりの確にとらえることができます。

血糖コントロール指標について

2013年5月、日本糖尿病学会より、合併症予防にはHbA_{1c} (NGSP) 7.0%未満を目指すという目標が設けられました。運動や投薬治療の結果をその場で知りたいという患者様のご要望にお応えするため、当院ではHbA_{1c}測定機器を導入しております。

血糖コントロール目標

※HbA_{1c}はNGSP値
※65歳以上の高齢者は除く

| | コントロール目標値 ^{注4)} | | |
|-----------------------|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 目標 | 血糖正常化を目指す際の目標 ^{注1)} | 合併症予防のための目標 ^{注2)} | 治療強化が困難な際の目標 ^{注3)} |
| HbA _{1c} (%) | 6.0 未満 | 7.0 未満 | 8.0 未満 |

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

注2) 合併症予防の観点からHbA_{1c}の目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130 mg/dL未満、食後2時間血糖値180 mg/dL未満をおおよその目安とする。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が厳しい場合の目標とする。

注4) いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠例は除くものとする。

日本糖尿病学会編・糖尿病治療ガイド2018-2019